

奈良県における取組



令和4年度当初予算で地方創生推進交付金を前年度同規模で確保いただくとともに、第1回募集において本県及び本県市町村の事業を採択いただいたことに心より感謝。

- 地方創生推進交付金と地方創生拠点整備交付金は、「地域の自立を図り、くらしやすい奈良を創る」ことを目指す本県の地方創生を推進する強力なエンジン。
- 本県ではこれまでから、内閣府・内閣官房の職員の方々を講師としてお招きし、県・市町村職員がともに学ぶ勉強会を開催するなど国からご支援をいただきながら、積極的に交付金を活用。
- 本県では、
 - ①「なら歴史芸術文化村」を軸とした、付加価値を高める人づくりプロジェクト
 - ②地域振興、観光ゲートウェイ、防災等複合的な機能を有する道の駅の整備などの事業に地方創生関係交付金を効果的に活用。

(参考) 令和4年度奈良県交付決定額

・推進交付金	奈良県	10事業	4億7,405万円
	市町村(16市町村)	22事業	2億1,074万円
・拠点整備交付金	奈良県	1事業	2,000万円
	市町村(5市町村)	7事業	2億2,959万円

〈本県の取組事例〉

①サービスデザインの導入による「ここなら(奈良)」ではの人づくりプロジェクト

奈良の歴史・芸術・文化を五感で感じ、対話や体験を通じて新しいことを知る楽しさへとつなげる「なら歴史芸術文化村」が令和4年3月にオープンし、県と地元市町村が連携して運営しています。

さらに、地域文化・産業などの分野において、人材を育成しながら体験プログラムを開発するなどの「人づくりプロジェクト」を実施し、付加価値が高い商品やサービスの創出に繋がります。



なら歴史芸術文化村



ワークショップの様子

②県北西部の拠点となる中町「道の駅」の整備

「地域振興機能」、「公共交通の結節点機能」、「地域観光のゲートウェイ機能」、「防災機能」の4つの機能を担う道の駅を、令和5年度のオープンに向け整備を進めます。



駐車場側から見た施設(イメージ)



道の駅内のバスターミナルから見た施設(イメージ)

国にお願いすること

○地方創生の実現のためには、地方のデジタル化とともに、従来からの地方創生の取組についても継続的かつ安定的に進める必要があるため、地方創生推進交付金及び地方創生拠点整備交付金について、来年度以降も必要な規模の確保をお願いします。

○また、本県においては地方創生の実現に向け、複数の自主的・主体的な地域拠点づくりに取り組みたいと考えており、地方創生拠点整備交付金について複数年度に渡る事業に係る申請枠の拡大をお願いします。